

スカウト2人が別院で研修□1
 仏教いろは問答□2
 新・祖蹟点描□3
 青色青光□4
 過疎問題とお寺□6
 行事予定、響流十方□7
 つれもて聴こら□8



『紀伊国系所図会』に描かれた
江戸時代後期の鷺森御坊

2022年(令和4年)
4月15日
第131号

発行:「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 TEL(073)422-4677 URL <http://saginomori.or.jp/>

教区内若手僧侶の講義を聴く(鷺森別院書院)



講。1月14日から週に一度、6回にわたり仏教と浄土真宗の教えや作法などを初歩から学び、2月25日の試験に合格、「宗教章」を取得した。ボーイスカウト日本連盟では、団員が確固

スカウト2人が 浄土真宗学ぶ

鷺森別院



平井志江理さん

ボーイスカウト和歌山連盟・和歌山第18団に所属する平井志江理さん(15)と宗宮湧希くん(13)が、鷺森別院で「本願寺派仏教章修得のための研修会」を受

研修受 「宗教章」取得



宗宮湧希くん

とした信仰を持つことを奨励しており、仏教章・神道章・キリスト教章など6種類の「宗教章」を認定しているが、仏教章の一つに「本願寺派仏教章」がある。和歌山教区事務所では、

が講師となり、①仏教章の意義・宗派について・家庭勤行、②荘厳と作法について・仏教讃歌・行事について、③釈尊の伝記、④仏教の教え、⑤親鸞聖人の伝記、⑥真宗教義、と各回

「宗教章」取得を希望するスカウト団員のための研修会を年に一度開催。今年は、和歌山教区寺族青年連盟の委員を務める若手僧侶6人

の講義を交代で行った。試験を終えて、平井さんは「宗教は真面目で堅苦しいイメージがありましたが、親鸞聖人の教えを学び、心を落ち着かせてくれるようなイメージに変わりました」、宗宮くんは「お経がインドで生まれ中国で訳されたことを知りました。お焼香の作法も覚えられてよかったです」と、笑顔で感想。

2人は3月19日、春季彼岸会を控えた鷺森別院で清掃奉仕にも参加した。

ロシアのウクライナ侵攻に宗派が抗議声明

2月24日に始まったロシアのウクライナ侵攻に対して宗派では下記の声明を発表、抗議と非難の意を表した。

ロシア連邦によるウクライナ侵攻に対する声明

2022年2月24日、ロシア連邦がウクライナへの軍事侵攻に踏み切りました。

ウクライナの各都市では子どもを含めた多くの民間人が犠牲となり、加えて100万人を超える国民が難民として避難を余儀なくされていると報道されています。

私たち浄土真宗本願寺派は、いかなる理由があろうとも、人命を軽視し、武力で一方向的に現状を変更しようとする暴力的な行為に抗議し強く反対の意を表します。

このたびのウクライナへの侵攻だけでなく、世界各地でテロや武力紛争が続いている現実があります。あらためて、あらゆる場での暴力の行使を非難するとともに、一刻も早く対話による平和的な解決がなされ、ウクライナに再び平和が訪れますよう願うものです。

思想文化や制度による厳しい対立や相互の排除をのり越えて、自他共に心豊かに生きていけるよう、共に努力する先にこそ、恒久的な平和を実現する道が切り拓かれてくるものと確信いたします。

2022(令和4)年3月8日

浄土真宗本願寺派総長 石上 智康

見開き面にウクライナ緊急支援募金協力をお願い

若葉 純真

仏教いろは問答

4

▽バレンティンデーは「布施」の精神で!?



若セツセ純真



若葉

高校から帰宅する若葉がお寺の前を通りかかると、ちょうど境内を掃除する純真の姿があったー。

若葉 純真さん、こんにちは。今日もお掃除ですか。

純真 こんにちは。だいぶ暖かくなったから、外にしていると気持ちいいよ。

若葉 ほんとに。最近まで寒かったのがウソみたい。純真 若葉さんは今帰るかな。最近学校はどう?

若葉 特に何も...と思うんだけど、ちょっとモヤッとすることが...

純真 モヤって?

若葉 はい。ほら、この前ホワイターがあったじゃないですか。あっ、純真さんはバレンティンデーにチョコもらいました?

純真 えっ。いや、ぼくはもらわなかったけど...それはまあ置いて、ホワイターがどうしたの。

若葉 バレンティンの日

に、私も学校の友達同士でチョコをあげたりもらったりしたんです。でもその日は用意してない子もいて、

そんな子はいたいいホワイターにお返しをくれたんですよ。でも、何も返してくれなかった子もいて...

純真 今は友達同士のやり取りがメインになってるんだね。チョコをあげたのに、お返しがなかったのが気になったということかな。

若葉 そうなんです。別にお返し欲しくてあげたわけじゃないんですけど、なんかちょっと、モヤモヤしてる感じです。

純真 そうだねえ。そういうつもりじゃなくても、つつい期待してしまうというはあるよね。

若葉 こんなこと言うと自分がケチみたいな感じがしていやなんですけど。

純真 そういえばこんな話を聞いたことがある。「人の為と書いて偽りという」というものでね。「相手のために」と思っていることも、よくよく考えてみると、「きつとお返しに何かしてくれるだろう」とか、「いいことをしたら自分が気持ちいい」とか、実は自分のためにしてるんだというんだね。

若葉 うーん...。そう言われちゃうと、何もしない方がいいんじゃないかって思っちゃいます。

純真 ああ、ごめん。そんなつもりで言ったんじゃないんだ。人のために何かするというのは仏教にもあって、貧しい人に食べ物や生活に必要な物を施したり、不安を抱えてる人に教えるを説いて安心させてあげることは「布施」といって、すごく大切にされてるんだ。

そのときに、「してあげてるんだから感謝してほしい」とか、「いつかこの恩を返してほしい」とか見返りを求める気持ちがあつたら、それは本当の布施にはならないというんだ。

若葉 布施という言葉には、確か「施し」という字が入ってますよね。

純真 よく知ってるね。もとのインドの言葉では



イラスト = いぶりん

「ダーナ」というんだけど、布施の精神の純粹さを称賛する例え話として、年長いたお坊さんのために、ウサギが自分を食べてもらおうとして火のなかに飛び込むという話もあるほどなんだ。

若葉 えっ!? それはさすがに...。自分の命を捨てる気持ちでとか、私にはできないなあ。

純真 ぼくもこれではないよ。ぼくたちのやることは、どうしても自分の思いや都合が交じってしまうけど、大事なものは、そういう自分を見つめつつ、それでも少しでも人のために何かできないかと考えることじゃないかな。バレンティンデーのお返しがなかったのは残念だけど、若葉さんが相手に喜んでもらいたいのとお返しをあげたことはいいいことだと思うよ。

若葉 ちょっとほっとしました。私、人のためになることを自分なりに考えてみます。また来ますね!

純真 待ってますよ。

(本紙・辻真一朗)

新

祖蹟点描

33 六角堂⑦



1975年東京都生まれ。縁あって現在の師匠・光永覚道師と出会い、中学3年で得度。2009年に千日回峰行を満行。著書に『千日回峰行を生きる』がある

大乘院住職 光永圓道師に聞くへ上

比叡山から通いの参籠は可能か

親鸞聖人の六角堂参籠が、こもりきりでの参籠だったのか通いでの参籠だったのかという問題については、奥さまの恵信尼公のお手紙の言葉で読む一つの鍵になる。

恵信尼公は親鸞聖人の六角堂参籠に触れて、「やまをいって、六かくたうに百日こもらせ給て」(『原典版聖典』889頁)と書かれたのだった。ここでいう「山を出でて」という表現を、「比叡山の僧という立場を捨てて山を下りて」という意味で受け取るならば、

親鸞聖人はまさに比叡山と決別されたのを機に、六角堂でこもりきりの参籠を始めたというストーリーが信ぴょう性を帯びてくる。しかし「山を出でて」という表現を単に「比叡山を出て」という意味に取るならば、比叡山の僧という立場のまま参籠されたことになるため、通いで参籠されたと考えるほうが妥当性が高いように思えてくる。

ここで通いでの参籠の可能性を探ると、新たな問題は、実際に百日も通いの参籠を続けられるかである。親鸞聖人が居住されたのが比叡山の大乗院(本連載第10回参照)だったとすると、六角堂まで直線距離で約10き、実際の歩行距離は約13き。居住されたのが比叡山の横川(第8回参照)だったとすると、歩行距離は約18きになる。

しかも標高約6、700メートルからの高低差もある。例えば午後に職務を終えてから比叡山を下りて六角堂に参籠され、ほとんど眠らずに、あるいは仮眠程度で朝の早い時間に戻られるという生活を続けた場合、体が持つかどうか。現代の感覚からすれば、そんな疑問が湧いてくるのは当然だろう。これについてお考えを伺うなら、大乘院住職で、13年前に「千日回峰行」も満

行された六角堂から大乘院まで歩かれたという記事です。このときのことをまず教えていただけますでしょうか。

どのぐらいの時間で大乘院と六角堂を往復できると思われるか。

「師匠によると4時間で往復できるというんですが、私もそう思います。千日回峰行を終えてからのことですが、普段使ってる仏具が壊れ、直してもらうために三条河原町の仏具屋まで行かなければならなくなり、車で行くよりも早いと思います。大乘院から走って行ったことがありません。そのときは1時間半で着きました。帰りは歩いて2時間半でしたから、ちょうど4時間です。歩くことに関しては、800年前の人のほうが今よりもはるかに能力があったと考えると、親鸞聖人であれば、大げさではなく4時間てきに往復されたのではないかと考えます。

「『親鸞さまのお通りイン関西Part3』という企画で、2019年(令和元)9月16日にたくさんの方と一緒に六角堂から大乘院まで歩きました。このときは真如堂や曼殊院などに立ち寄りまして、食事休憩の時間もあり、また脱落される方がないよう配慮して歩きましたので、片道だけで約7時間かかりました。実はその10年前、同じ企画の『Part1』ということで、師匠の光永覚道大阿闍梨が大乘院から六角堂まで歩いたのです。これは私が千日回峰行を満行した翌日の2009年(平成21)9月19日のことですが、そのときから、今度は10年後に六角堂から大乘院まで歩くことになりました」

「10年越しで六角堂から大乘院まで帰られたというの面白いですね。実際に歩かれた印象も踏まえて、

しかし、今ですと信じられないかもしれません。一般の方が同じことをすると、恐らく倍の8時間ぐらいかかるでしょうから」

「次回につづく」
(聞き手・本紙編集部)

「孫市まつり」で鷺森別院にぎわう

年 境内 多彩 催

戦国時代、雑賀衆の頭領として天下統一を目指す織田信長の前に立ちはたかり、和歌山を守った英雄――。そんなイメージを冠した雑賀孫市を地元のヒーローとして盛り上げ、地域の活性化につなげている「孫市まつり」が3月27日、鷺森別院境内で開かれた。

18回を迎えた「まつり」も、観客を受け入れての開催は3年ぶり。境内はこの日を待ちわびた家族連れや歴史ファンでにぎわった。午前11時からの「武者行列」では、よろいかぶとや時代衣装に身を包んだ参加者が鷺森別院を出発。和歌

“ゆるキャラ”も大集合



和歌山県内から集まったイメージマスコットが「まつり」を盛り上げた。⑥から和びとちゃん、そうへいちゃん、わかばん、まごりん、リリクル

まつりを主催する「孫市の会」の森下幸生会長は、「一昨年は中止、昨年はPR映像の撮影で、今日ようやくまつりが実現しました。」

関わっていただいたすべての方々にお礼申し上げます。これからも明るい明日に向かって、何とか孫市まつりで盛り上げていきたいと思っています」と、感極まった声であいさつ。駆け付けた仁坂吉伸・和歌山県知事、尾花正啓・和歌山市長もあいさつに立ち、開催を祝した。



96人が鷺森幼稚園巣立つ

鷺森幼稚園では3月17日、鷺森別院本堂で卒園式を挙行了。新型コロナウイルス感染症予防のため、保護者の人数を制限、時間も短縮しての式となった。卒園証書を手にした卒園児96人

は、本堂をバックに記念撮影Ⅱ写真。4月からの新生活への希望を胸に思い出の詰まった園舎をあとにした。つめ続けてきたお寺だからこそ、長期的な視点に立ち、地域のビジョンや人々の生き方について発信できるのではないだろうか。そのためには僧侶の自己研さん求められます」

2次募集始まる

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要

「これからのお寺の取り組み」問う

升巴教務所長 若手僧侶 向 講義

教区寺青連盟 研修会

和歌山教区寺族青年連盟（狹野龍裕委員長）が主催する研修会が2月18日に鷺森別院書院で開かれ、升巴信隆・和歌山教区教務所長が「和歌山県の浄土真宗寺院として、これから何に取組みますか？」と題して講義。講義はZoomを使用



講師の升巴教務所長

さらに、新型コロナウイルスの影響でテレワークが普及するなど、生活形態の変化が一気に進みました。寺院でもオンライン法要の実施などの対応について考える必要が出てきています。めまぐるしく変化する環境に適切に対応し続けることが、お寺の存続につながります。人々の生き方を見

つめ続けてきたお寺だからこそ、長期的な視点に立ち、地域のビジョンや人々の生き方について発信できるのではないだろうか。そのためには僧侶の自己研さん求められます」

和歌山教区では、昨年10月1日からの1次募集を2月28日で締め切り。これによる教区内14組の参拝予定人数は、当初設定していた通りの1700人となった。宗派では、1次募集で満席に達しなかった法要については空席状況をホームページで公開し、4月1日から2次募集を行っている。



「現在、日本は過去に類を見ない人口減少の過程にあります。和歌山県の人口も2020年（令和2）に92万2584人となり、2015年（平成27）から4万995人減少しています。ところが世帯数は2151世帯増加しており、

突入しているというのは全国的な傾向で、独身世帯の割合は今後も着実に増加すると予想されています。これにより寺院運営としては、家とのつながりだけでなく、今後ますます個人と個人のつながりが重要になります。

青色青光



鷺森別院では3月21日、春季彼岸会と総永代経法要を本堂で併せてお勤め。仏説阿弥陀をお勤めするなか、参拝者21人が焼香した。お勤め後は神戸修師（堺市西教寺）が、「彼岸とは、私たちの住む多い此岸から煩悩の川を渡り越えて到達する仏の世界で、浄土真宗ではお浄土のことです」と話し、参拝者らは静かに耳を傾けていた。総永代経法要は6月に勤修予定だったが、新型コロナウイルスの感染状況により併修に

会が2月17日、「みんな花になれ」をテーマに、奈良教区仏教婦人会連盟が担当しオンラインで開催された。鷺森別院書院では和歌山教区仏教婦人会連盟会員4人が花岡静人師（仏婦総連盟講師）の法話を聴聞（写真）するなど大会に参加。次回は滋賀教区が担当して開かれる。

ウクライナ緊急支援募金にご協力ください

浄土真宗本願寺派では、ロシアの軍事侵攻によって避難生活を余儀なくされているウクライナの人々を支援するため、「たすけあい運動募金」において「ウクライナ緊急支援募金」への協力を呼び掛けている。

募金の振込み先などを下記に記載しておりますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。お預かりした募金は指定寄付金として、関係団体へ送り、難民支援などに充てさせていただきます。

【郵便振替】0100014-69957、加入者名「たすけあい募金」【銀行振込】ゆうちょ銀行・一〇九店、当座0069957。名義「たすけあい募金」※郵便振替・銀行振込と

オンラインで近畿仏婦大会



第43回西本願寺近畿地区仏教婦人会大会が2月17日、「みんな花になれ」をテーマに、奈良教区仏教婦人会連盟が担当しオンラインで開催された。鷺森別院書院では和歌山教区仏教婦人会連盟会員4人が花岡静人師（仏婦総連盟講師）の法話を聴聞（写真）するなど大会に参加。次回は滋賀教区が担当して開かれる。

過疎問題とお寺④

お寺版ゆいごん白書

楠原 晃紹

(過疎対応支援員)

前号で紹介した宗派の「寺院サポート講座」を受けた際、筆者が住職を務めるお寺の「寺院運営計画書」を作成し、その具体的なアクションの一つとして「お寺で終活 円満人生」という言葉を掲げました。

この言葉を掲げたのは、4回にわたる宗派の講座を受けている時期に、大阪市で終活サポートを手掛ける「はっぴい and プロジェクト」という会社が制作する『お寺版ゆいごん白書』を知ったからです。

お寺と「終活」の組み合わせと聞けば、亡くなられた際の葬儀や仏事に関する物かと思われるかもしれませんが、それだけではありません。

ません。入院した場合のこと、認知症になった場合のこと、延命治療、遺品整理、後見人、信託、デジタル遺品、ペットのことなど、「あると助かる仏事も含めた情報」70項目がA3用紙2枚に記載されているチェックシートです。

「はっぴい and プロジェクト」の辻瑞恵社長は、岸

和田市の浄土真宗本願寺派の寺院の寺族で、一般向けの『ゆいごん白書』を5年前に考案、お世話になっている寺院のために何か役立つことはできないかと、大阪や奈良の寺院で、この『ゆいごん白書』を使った終活講座を開催してきました。

ので、記入方法は、各項目の該当箇所にチェックマークを入れるだけ。早ければ1時間ほどで完成します。市販で出回っているエンディングノートは記入項目が多過ぎて途中で記入をやめてしまう方も多いのですが、これなら誰でも完成させられますね。

3枚つづりの複写式シート

仏事も含めた「終活」チェックシート

トになっているため、1枚記入すれば、専用封筒に入れて3人の方に渡しておく

教務所・別院人事

新職員 4月1日付で、

梶信敬師(22歳、紀南組正念寺衆徒)が和歌山教区教務所・鷺森別院に採用さ



梶 信敬新職員

日高別院の催し

常例法座 4月18日、

野田菫師(大阪府摂津市千里丘・専稱寺)。午後1時

れた。梶新職員は、「那智勝浦町の出身です。大学では仏教学を専攻し、また部活動では吹奏楽部に所属していました。社会人1年目ですので、至らぬ点多々

あると存じますが、精いっぱい取り組みたいと思います。よろしくお願いいたします」と、あいさつ。

※退職者の情報は、次号に掲載します。

だけでなく、ご門徒や地域の方々に仏事の意義やお寺とのつながりを再確認していただき、また、仏縁を次の世代へとつないでいくことの大切さに気付いていただくための貴重な機会にもなります。

そして、住職・僧侶がご門徒や地域の方たちから頼られ、より相談しやすい存在になるという利点もあるのではないのでしょうか。

興味のある方は、ホームページに詳細が記載されていますので、「ゆいごん白書」で検索してください。

(日高組妙願寺住職)

から本堂で正信念仏偈(行譜)をお勤めし、引き続き午後2時15分まで法話を聴聞する。

次ページ3段目へ続く

鷺森別院で春の恒例法要

二尊会と宗祖降誕会にお参りを



昨年の二尊会のお勤めの様子

鷺森別院では恒例の「二尊会」と「宗祖降誕会」を本堂でお勤めする。

二尊会 二尊像(親鸞聖人と通如上人の連座の御影)を奉懸して、5月13日から16日の4日間、毎座午後1時30分からお勤め、引き続き3時まで伯水永雄師(富

山県氷見市泉・明泉寺)の法話を聴聞する。

宗祖降誕会 宗祖親鸞聖人のご誕生をお祝いして、5月21日午後1時30分からお勤め、引き続き3時まで法話を聴聞する。

※詳細は鷺森別院ホームページでご確認ください。

得度

昨年12月 廣田恭平(和歌山西組安楽寺・衆徒)

衆徒) 1月19日

湯浅みき子(有田南組寶林寺・前坊守) 2月10日

茂野眞琴(有田北組浄念寺・住職) 2月21日

敬弔

立森秀芳(有田北組教念寺・前住職) 1月3日

難賀尚道(和歌山山明寺・

生前のご活躍で尽力に感謝申し上げ、謹んで敬弔の意を表します。

剪「日高別院の催し」続き
■花祭り・降誕会・湯川忌
5月15日午後1時から菅原吉人副輪番のあいさつ、御坊組僧侶と御坊幼稚園園児

が、らいはいのうたをお勤め。その後、園児らの稚児行列。花御堂を乗せた白象を引き、町内を行進する。
■永代経 6月18日、午

後1時から本堂で仏説阿弥陀経をお勤めし、引き続き2時15分まで尾野智行師(兵庫県たつの市龍野町・西福寺)の法話を聴聞する。

(本願寺日高別院 御坊市御坊100番地 電話0738-2210518)
※「鷺森別院の催し」は8面に掲載しています。

郷流十方

5月催

本山

4月13・14日 〈春の法要〉
阿弥陀堂内陣修復完成慶讃法要

4月15日 〈春の法要〉立教開宗記念法要

5月20・21日 宗祖降誕会

6月5・8日 大谷本廟納骨・永代経総追悼法要

6月22日 住職補任研修

6月23日 住職補任式

和歌山教区

4月7日 組長会

4月7日 ビハーク和歌山委員会

4月10日 仏教青年連盟ホー

ドゲーム会

4月14日 門徒総代会新旧委員会

4月19日 ビハーク和歌山総会・研修会

4月20日 布教団役員会

4月20日 寺族青年連盟委員会

4月22日 寺族女性会委員会

4月23日 仏教青年連盟委員会・総会

4月25日 仏教婦人会連盟第1回委員会

4月26日 少年連盟委員会

4月26日 ビハークサロン

6月11日 仏教青年連盟ホー

教区内各組

和歌山組

5月28日 組内会(鷺森別院)

6月7日 組仏教婦人会連盟総会(鷺森別院)

和歌山東組

5月7日 組内会(鷺森別院)

和歌山西組

4月中旬 組内会(光源寺)

5月中旬 組内会(光源寺)

6月中旬 組内会(光源寺)

海草組

6月11日 組内会(報徳寺)

有賀組

4月17日 組仏教婦人会総会・研修会(大光寺)

5月8日 組仏教壮年会総会・研修会(専念寺)

6月4日 組会(善行寺)

有田北組

4月23日 定期組会(橘家会議室)

日高組

4月未定 組総代会総会

4月29日 組仏教婦人会物語者追悼法要・総会(浄明寺)

6月6日 「ひかり」編集委員会(善宗寺)

6月18日 組内会(未定)

御坊組

4月未定 組協議会(日高別院)

5月未定 組会(日高別院)

5月未定 組総代会(日高別院)

5月8日 花祭り・降誕会・湯川忌(日高別院)

5月未定 組仏教婦人会総会(日高別院)

6月未定 組仏教壮年会総会(日高別院)

紀南組

4月11日 組会(妙道寺)

未定 組仏教婦人会総会(未定)

6月予定 組門徒総代会総会(未定)

※詳細は各組事務所まで。

つれもて 聴こら

お金や地位や家族や健康に恵まれていれば幸せといえるのでしょうか。これらがそろえばそろうほど幸せに近づくと思われるかもしれませんが、実はそうじゃありません。そういう条件は、やがて消えていくもの、

寺の聞法会館でお聞きしたご法話を思い出します。

その方は福井の方でしたが、自分は大学教授で、今度学生と旅行に行くのだと、

廣瀬信彰

当てにならないものです。

本当に大切なことは、自分が何もかも失ったときに、それでもこれさえあれば生

まず地位のことを言われた。次にかわいい孫と過ごして

いますと、家族のことを話された。そして「私、血色



真実との出遇いが人生の力に

一緒に苦しんでくださる仏さま

きていけるといふものに出遇えているかどうかです。その「真実」に出遇える教えこそが、浄土真宗です。

このような話をしており、まずと、10数年前に西本願

のいい顔してるでしょ」と言われるんで、今度は健康の自慢かと、当時の私は思ったものです。

しかし、その方が話されたのは、ご自分が末期がん

でも、浄土真宗の教えと

いうのはすごいですね。その方は、世をすねて寝込んでしまわれたかというところうじゃない。福井から電車に乗って京都に来て、仏法

親鸞聖人は『高僧和讃』のなかの一首に、

「生死の苦海ほとりなし
ひさしくしづめるわれら
をば 弥陀弘誓のふねのみ
ぞのせてかならずわたり

ける」と、詠われました。本当は毎日、この一日は二度とない一日だな、有り難いなあと思いながら過ぐせればいいんですが、実際は人と比べて愚痴と怨みでまた貴重な一日を終えてしまっている。それが「ひさしくしづめるわれら」です。海の底に沈んでしまっているということなんです。

でもここに阿弥陀さまの船がやって来て、「のせてかならずわたしける」と言われます。これは、阿弥陀さまが船の上から私たちを見て、「おお、上がって来いよ」とおっしゃるんじゃないんです。声を掛けたいで上がっていきけるんだって、自分の力が上がって。そんな能力がないか

ら沈みっぱなしなんです。じゃあどうするか。阿弥陀さまは海に飛び込んでくださるんです。海底でもがき苦しんでいる私たちと同じ目に遭ってまで、私たち一人ひとりの元まで来てくださって、決して私を離さず、一緒に上がって行ってくださるというんです。

あんな生き方やこんな生き方が素晴らしいと言うのは人間の見方です。どんな生き方であろうとも、おまえが一番大切なとおっしゃってくださる阿弥陀さまに出遇えてこそ、本当に有り難いと思って命終えていける人生が開かれてくるのです。(近江八幡市安土町・永照寺) 2月16日の鷺森別院常例法座の法話から

鷺森別院の催し

■常例法座 4月15、16

日、野田茜師(大阪府摂津市千里丘・専稱寺)。6月15、16日、尾野智行師(兵庫県たつの市龍野町・西福寺)。いずれも午後1時30

分からお勤め、引き続き3時ごろまで法話を聴聞する。

※予定を変更する場合がありますので、ホームページなどでご確認ください。

(本願寺鷺森別院 和歌山市鷺森1番地 電話073-422-4677)